

II 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり

◎循環型社会の構築

(施) 環境活動促進費 (環境部 環境保全課)

1,451千円 (1,146千円)

1 事業目的

市民参加による自然観察会を開催し、生息する動植物のリスト、マップ、冊子を作成することを通じて、動植物を大切にす意識の高揚を図る。

緑のカーテンによる省エネ効果の把握や温暖化防止意識の高揚を図る。

環境基本計画等に盛り込まれた環境活動（自然観察指導者養成講座・水質浄化プロジェクト・自転車マイレージ活動等）を『にいほま環境市民会議』との協働により推進する。

地域団体による渦井川水系の環境保全活動に対して助成を行い、子供たちへの環境教育の推進、地域の人たちの自然環境への意識高揚を図る。

2 事業年度

平成21年度

3 21年度の事業内容

(1) 自然共生事業 (315千円) 委託料

市民ボランティアによる野鳥観察会の開催、冊子『新居浜の野鳥』用原稿の作成

(2) みどりのカーテン事業 (273千円) 報償費、消耗品費等

ゴーヤーの種 (または苗) 等を配布し、緑のカーテンによる省エネ効果の把握や温暖化防止意識の高揚を図る。

(3) 環境活動推進事業 (663千円) 委託料

環境基本計画等の環境活動を推進する協働組織『にいほま環境市民会議』に委託し、市民参加による環境活動を推進する。

① 自然保護活動

(自然観察指導者養成講座・水質浄化プロジェクト等)

② 温暖化対策活動

(環境家計簿普及啓発、自転車マイレージ活動等)

③ 環境活動普及啓発

(環境活動PR掲示板、環境イベント)

(4) 渦井川水系の環境保全活動事業 (200千円)

渦井川水系を中心とした『夢遊友うずい』への環境保全活動に対する補助金

II 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり

(施) 家庭ごみふれあい収集事業費 (環境部 ごみ減量課) (新規)

319千円

1 事業目的

高齢者や身体障害者の方など、家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難な世帯の家庭ごみ排出に関する支援を行い、日常生活の負担を軽減し在宅生活を支援する。

2 事業年度

平成21年度

3 21年度の事業内容

(1) 委託料 319千円

・ふれあい収集委託料

家庭ごみの持ち出しが困難な世帯の戸別収集の本格実施に向けモデル事業として実施し、実施方法の検討を行う。

(施) ごみ減量化推進費 (環境部 ごみ減量課) (拡充)

7,791千円 (2,069千円)

1 事業目的

各家庭から出される燃やすごみの内、約4割を占められている生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器等への購入補助を行う。また、市民が生ごみを効率的に堆肥化できるための知識を習得できるよう、生ごみ減量推進事業を行う。

地球温暖化防止や家庭ごみの減量化施策の一つとして、事業者、消費者団体等とレジ袋削減に向けて協働で取り組む。

2 事業年度

平成21年度

3 21年度の事業内容

(1) 生ごみ処理容器等設置補助事業 6,511千円

20年度と比較し、補助基数を大幅に拡大する。 ※ () はH20予算

①補助金 6,405千円 (2,025千円)

・コンポスト100基 (79基)、水切り容器95基 (80基)、
電気式生ごみ処理機300基 (85基)

②事務費 106千円 (44千円)

・アンケート等送付用通信運搬費、消耗品費等

(2) レジ袋削減対策事業 780千円

事業者、消費者団体等と「レジ袋削減削減に関する協定書」を締結し、レジ袋削減に向けて協働で取り組む。

①消耗品費 600千円

・のぼり (100店舗、400本)

②印刷製本費 180千円

・ポスター (80店舗、公共施設等)

(3) 生ごみ減量推進事業 500千円

希望する自治会や団体等に生ごみアドバイザーを派遣し、生ごみを効率的に堆肥化するための助言・指導を行うとともに、堆肥化するためのパンフレットを作成し、補助対象者、アドバイザー派遣受講者に配布する。

- ①報償費 216千円
 - ・講師謝礼（生ごみ処理機活用に関するアドバイザー派遣費）
- ②印刷製本費 280千円
 - ・生ごみ処理機活用法等パンフレット
- ③消耗品費 4千円
 - ・筆記用具等

(公) **容器資源化対策事業（環境部 環境施設課）**

137,575千円 (224,970千円)

1 事業目的

容器包装リサイクルの推進のため、分別収集された資源ごみ（びん、缶、プラスチック製容器包装等）の選別・圧縮等を行い、資源としての有効活用を図る。

2 事業年度

平成20年度～平成21年度（継続費）

3 事業概要

清掃センター敷地内に2か年継続事業で、平成21年10月からの分別収集の変更とあわせ、プラスチックやびん・缶などの資源ごみ選別圧縮設備の整備を行う。

4 21年度の事業内容

(1) 工事費 131,917千円

容器リサイクル法対象プラスチック選別圧縮梱包設備、缶（アルミ・スチール）選別圧縮設備等の整備

(2) 委託料 5,220千円

施工監理委託等

(3) 事務費 438千円

消耗品費、印刷製本費

5 財源内訳

(1) 国 1/3 (32,452千円)

(2) 市債 90%（補助）(58,400千円)（交付税算入率50%）

75%（単独）(24,700千円)（交付税算入率30%）

(3) 一財 (22,023千円)

II 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり

◎快適な生活空間の形成

(単) 道路緊急舗装等事業 (建設部 道路課)

250,000千円 (300,000千円)

1 事業目的

平成18年度に実施した道路の調査結果を基に、3年間の予定で、傷んだ市道の修繕工事や、再舗装工事等を実施し、市道の適正な維持管理に努める。

2 事業年度

平成19年度～平成21年度

3 21年度の事業内容

- (1) 工事費 230,000千円
駅裏角野線舗装工事等
- (2) 委託料 20,000千円
緊急舗装補修業務委託

(単) 道路整備事業 (建設部 道路課)

240,000千円 (220,000千円)

1 事業目的

市道の適正な維持管理に努め、市民生活の安全性と利便性の向上に寄与する。

2 事業年度

平成21年度

3 21年度の事業内容

- (1) 工事費 103,000千円
高山中筋線道路改良工事等
- (2) 施設修繕 27,000千円
道路施設修繕
- (3) 用地費 29,200千円
- (4) 委託料 58,800千円
道路管理委託料、実施設計委託料等
- (5) その他 22,000千円
補償費、事務費等

(公) 中央環状線改良事業 (建設部 道路課)

65,500千円 (13,750千円)

1 事業目的

これまでに整備されている自転車歩行者専用道路（住友鉄道跡地の約1,400m部分、国領川右岸の約2,200m部分）を、新居浜駅前土地区画整理事業に合わせて新居浜駅とつなげることで、市内中心部を結ぶ自転車歩行者専用道路のネットワーク化と利用者の利便性向上を図る。

2 事業年度

平成20年度～21年度

3 事業概要

主要地方道新居浜角野線を跨ぐ自転車・歩行者専用道路L=80m（橋梁部30m）を整備する。

4 21年度の事業内容

- (1) 工事費 63,500千円
上部工 1式
- (2) 事務費 2,000千円

5 財源内訳

- (1) 国 40% (8,840千円) (まちづくり交付金)
- (2) 市債 75% (42,400千円) (まちづくり交付金事業債) (交付税算入率 10%)
- (3) 一財 (14,260千円)

(単) **渡海船整備事業 (経済部 運輸観光課)** (拡充)

13,639千円 (6,442千円)

1 事業目的

渡海船は1日15便を2隻で運行しているが、「おおしま」は建造後20年を経過し、船体全体の劣化が著しいため、次期新船を建造する。また、「くろしま」については、建造後7年が経過し、今後の船体維持に関する適正な点検整備を充実させるとともに、船体及び諸機関等の調整・修繕、定期点検整備等が必要である。

2 全体計画

- (1) 渡海船整備事業 平成21年度
- (2) 新造船建造取得事業 平成21年～平成34年度

3 21年度の事業内容

- (1) 渡海船整備事業 12,749千円
 - ・ 需用費 (船舶修繕費) 700千円
 - ・ 工事請負費 12,049千円
- (2) 新造船建造取得事業 890千円
 - ・ 費用弁償 (評価委員招致旅費) 413千円
 - ・ 特別旅費 (工事立会等) 477千円

(単) **都市公園整備事業 (建設部 都市計画課)** (新規)

60,000千円

1 事業目的

中萩校区近隣に居住する人々を主な利用の対象として、休息や運動など屋外レクリエーション活動や都市の環境保全景観の向上、都市防災等に資することを目的に整備する。

2 事業年度

平成20年度～22年度

3 21年度の事業内容

- (1) 工事費 60,000千円
造成工事、広場工事等

4 財源内訳

- (1) 市債 75% (45,000千円) (地域活性化事業債) (交付税算入率 30%)
- (2) 一財 (15,000千円)

II 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり

(公) 国領川緑地整備事業 (建設部 都市計画課)

103,800千円 (5,000千円)

1 事業目的

多くの市民が利用する国領川緑地を再生整備し、気軽に利用でき、健康増進・スポーツに親しめる場を提供する。

2 事業年度

平成20年度～平成23年度

3 事業概要

国領川緑地に水洗トイレ、休憩施設、運動施設等を整備する。

4 21年度の事業内容

- (1) 工事費 100,700千円
便益施設整備工、運動施設工
- (2) 事務費 3,100千円

5 財源内訳

- (1) 国 40% (14,260千円) (まちづくり交付金)
- (2) 市債 75% (63,400千円) (まちづくり交付金事業債) (交付税算入率10%)
- (3) 一財 (26,140千円)

(単) 活性化推進住宅整備事業 (建設部 建築住宅課) (新市建設計画)

78,611千円 (45,268千円)

1 事業目的

別子山地域における産業の担い手や地域特性を活かしたまちづくりへの活力を呼び込み、人口減少に対する歯止めをかけ、地域の活性化を図るため、市内外からの定住を促進する。

2 事業年度

平成20年度～21年度

3 事業概要

木造平屋建て 床面積69.94㎡ 4棟4戸

4 21年度の事業内容

- (1) 工事費 76,652千円
- (2) 事務費 1,959千円

5 財源内訳

- (1) 市債 95% (74,200千円) (合併特例債) (交付税算入率70%)
- (2) 別子山振興基金 (4,411千円)

◎水環境の向上

(単)別子山地区飲料水供給施設整備事業(経済部 別子山支所) (新規)

11,192千円

1 事業目的

現在、別子山地域の飲料水供給施設は、弟地・保土野の県条例水道以外の区域では、各家庭において水源の管理や施設の維持管理をおこなっているが、地域全体の高齢化などにより維持管理を各戸で実施することが困難になってきているため、新市建設計画に基づき、別子山地域全体の各戸において「安全・安心・安定的」な飲料水の確保を図る。

2 全体計画

事業年度 平成21年度～平成25年度

3 21年度の事業内容

- (1) 原水基準項目検査(手数料) 2,229千円
- (2) 基本構想設計委託料 8,963千円

4 財源内訳

- (1) 別子山振興基金 11,192千円

(施)公共下水道事業特別会計繰出金(環境部 下水道管理課)

94,630千円 (86,700千円)

※以下特別会計ベースの事業費

◇管渠等建設事業費 629,000千円(664,000千円)(下水道建設課)

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、下水道の整備を促進することにより、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ると共に、浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成17年度から平成23年度

3 21年度の事業内容

- (1) 工事費 575,000千円
 - ① 汚水整備 A=11.28ha L=3,155m(346,000千円)
川西汚水幹線、萩生汚水幹線 他
21年度末普及率目標 54.7%
 - ② 雨水整備 A= 4.68ha L=934m(229,000千円)
池田雨水幹線、喜光地雨水幹線、中央雨水枝線 他
- (2) 委託料 30,000千円
実施設計委託一式
- (3) 事務費 24,000千円

4 財源内訳

- (1) 国 1/2 (314,500千円)
- (2) 市債 90% (283,000千円)(交付税算入率37%)
- (3) 受益者負担金 (25,650千円)
- (4) 一財 (5,850千円)

II 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり

◇単独下水道事業費 873,400千円(886,400千円)(下水道建設課)

1 事業目的

雨水の排除と汚水の処理により、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図るとともに、浸水被害の解消を図るため雨水・汚水の面整備を行う。

2 事業年度

平成17年度～平成23年度

3 21年度の事業内容

(1)工事費 586,400千円

①汚水整備 A=21.35ha L=5,529m(406,000千円)
21年度末普及率目標 54.7%

②雨水整備 A=2.68ha L=725m(174,000千円)

③汚水柵(区域外)及び付帯施設整備 (6,400千円)

(2)公有財産購入費 20,000千円

下水道用地購入

(3)補償費 121,800千円

新居浜市上水道移設等

(4)委託料 97,000千円

実施設計委託、現場技術業務委託

(5)事務費 48,200千円

4 財源内訳

(1)市債 95%(823,700千円) ※市債対象事業費 867,000千円(交付税算入率 37%)

(2)受益者負担金等 (6,400千円)

(3)一財 (43,300千円)

◇終末処理場改築事業 371,000千円(331,000千円)(下水道管理課 下水処理場)

1 事業目的

下水処理場は、昭和55年の供用開始後30年目を迎え、殆どの設備が耐用年数を超えていることから、当初からの運転で老朽化した施設の機能回復を図るため、これらの現有設備を、国庫補助事業として計画的に改築更新する。平成21年度は、昨年度に着手した水処理設備(Ⅲ-1池・Ⅲ-2池の最初沈澱池・用水設備)に引き続き、新たに平成21～22年度の2か年の継続事業として汚泥処理設備(汚泥消化槽2槽)の改築工事を実施する。

2 事業年度

平成14年度～平成26年度

3 21年度の事業内容

(1)工事委託料 354,000千円

①水処理設備(Ⅲ-1池・Ⅲ-2池)最初沈澱池・用水設備
機械設備工事・電気設備工事 1式 [H20～21年度継続事業]

②汚泥処理設備(汚泥消化槽2槽)
機械設備工事・電気設備工事 1式 [H21～22年度継続事業]

(2)委託料 13,000千円

消化タンク浚渫業務委託料

(3)事務費 4,000千円

4 財源内訳

- (1) 国 50%、55% (196,020 千円)
- (2) 市債 90% (145,700 千円) (交付税算入率 37%)
- (3) 使用料 (13,000 千円)
- (4) 一財 (16,280 千円)

◇**終末処理場建設事業 251,000千円 (156,000 千円) (下水道建設課)**

1 事業目的

汚水幹線の整備促進による普及率の向上に伴い、下水処理場の汚水処理能力増強を行うため、水処理施設の増設を行う。

2 事業年度

平成20年度～平成21年度 (継続費)

3 21年度の事業内容

- (1) 工事委託料 251,000千円 [H20～21年度継続事業]
 - ①水処理設備 (IV-2 池エアレーション塔, 最終沈殿池外) 一式
 - ②電気設備 (運転操作設備、中央監視設備外) 一式

4 財源内訳

- (1) 国 55% (138,050 千円)
- (2) 市債 90% (101,600 千円) (交付税算入率 37%)
- (3) 受益者負担金 (11,350 千円)

(単) **一般下水路整備事業 (環境部 下水道建設課)**

110,000千円 (105,000 千円)

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け排水路の整備を促進することにより、生活環境の改善及び水質保全を図ると共に浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成21年度

3 21年度の事業内容

- (1) 工事費 63,600千円
上本郷排水路外14か所
- (2) 委託料 18,000千円
和井田排水路外3か所測量設計委託料、水路清掃委託料 等
- (3) 施設修繕 15,600千円
市道のマンホール調整、緊急を要する施設修繕 等
- (4) 補償費 10,000千円
新居浜市上水道移設 等
- (5) 事務費等 2,800千円
自動車借上料800千円、原材料費1,000千円等

II 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり

(単)河川改良事業(環境部 下水道建設課)

30,000千円 (30,000千円)

1 事業目的

河川改良を図ることにより、浸水被害の解消を図ると共に、生活環境の改善及び水質保全を図る。

2 事業年度

平成21年度

3 21年度の事業内容

(1)工事費 25,000千円

長野第一川 外2か所

L=200m

(2)委託料 5,000千円

土砂撤去委託 本川 外2か所

◎安心空間の形成

(公)小・中学校耐震補強対策事業(教育委員会事務局 学校教育課)

816,032千円 (975,253千円)

1 事業目的

地震による校舎・体育館の倒壊等の被害から児童・生徒を守り、安全で快適な教育環境の整備を図る。

2 事業年度

平成18年度～平成24年度

3 事業概要

小・中学校校舎耐震補強工事及び外壁補修工事を実施する。また、平成22年度に耐震補強工事を行う小・中学校校舎の耐震補強設計及び北中学校体育館の改築設計を行う。

4 21年度の事業内容

(1)工事費 754,280千円(耐震補強及び外壁補修工事費等)

小学校4校(惣開、神郷、角野、大生院)、中学校3校(泉川、船木、角野)

(2)委託料 61,352千円(耐震設計及び改築設計委託料)

小学校3校(神郷、中萩、角野)

中学校2校(川東、別子)

北中学校体育館(改築設計)

(3)事務費 400千円

5 財源内訳

(1)国 1/2(耐震)(200,534千円)

(2)国 2/3(耐震嵩上げ)(49,152千円)

(3)国 1/3(外壁)(31,152千円)

(4)市債(耐震補助)75%(146,600千円)(交付税算入率1/2)

(5)市債(耐震補助嵩上げ)90%(59,100千円)(交付税算入率2/3)

(6)市債(外壁補助)75%(186,900千円)

(7)一財(142,594千円)

(単)防災行政無線整備事業(総務部 防災安全課) (新規)

4,655千円

1 事業目的

別子山地区のアナログ式防災行政無線については、昭和63年に整備されており、老朽化が進んでいることから、デジタル双方向式無線に全国瞬時警報システムを接続して更新整備するとともに、旧新居浜地区の市内同時伝達手段についても整備する。

2 事業年度

平成21年度～

3 事業概要

- (1) 別子山地区 デジタル同報防災行政無線
- (2) 旧新居浜市 デジタル同報防災行政無線と簡易無線との併用を検討中

4 21年度の事業内容

- (1) 実施設計(市内全般の電波伝達調査含む。)

5 財源内訳

- (1) 市債 95% (4,400千円) (合併特例債) (交付税算入率70%)
- (2) その他 (255千円) (別子山振興基金)

(公)消防自動車整備事業(消防本部 総務警防課)

121,682千円 (99,440千円)

1 事業目的

多様化する各種災害に迅速・安全・確実に対応するため、消防自動車の計画的な更新整備を行う。

2 事業年度

平成21年度

3 21年度の事業内容

- (1) 備品購入費 121,173千円
 - ① 救助工作車(南署 20年経過)
 - ② 消防ポンプ自動車1台(南署 15年経過)
- (2) 事務費 509千円

4 財源内訳

- (1) 国1/2 (24,871千円) (2) 県 (3,000千円) (3) 市債 90% (83,900千円)
- (4) 一財 (9,911千円)

(単)消防分団詰所整備事業(消防本部 総務警防課)

75,375千円 (42,898千円)

1 事業目的

地域防災力の向上と、消防体制の充実強化を図るため、浮島分団詰所と高津分団詰所を統合し、高津消防分団詰所の移転建て替えを行う。

2 事業年度

平成20年度～21年度

3 21年度の事業内容

- (1) 工事費 74,322千円 (建築工事1式) (2) 事務費 1,053千円

4 財源内訳

- (1) 市債 90% (65,000千円) (防災基盤整備事業債) (交付税算入率50%)
- (2) 一財 (10,375千円)

II 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり

(単) **新墓園整備事業 (環境部 環境保全課)** (平尾墓園特会)

130,000千円

1 事業目的

現在の平尾墓園の残区画数減少に伴い、新たに合葬式墓地を整備し、市営墓地として安価で簡素な埋葬場所の提供を図る。

2 事業年度

平成20年度～21年度

3 事業概要

(1)場 所 新居浜市平尾墓園内

(2)設計規模等 収容体数1,500体相当 (H21年度整備は800体相当分)
ロッカー式

(3)埋葬方法 一定期間納骨壇へ納骨後合葬

4 21年度の事業内容

(1)合葬式墓地建設工事費 130,000千円

①土木造成工事

②合葬式墓地建築工事

③周辺環境整備工事

5 財源内訳

(1)市債 100% (130,000千円)